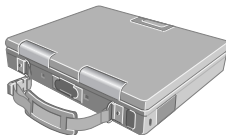
Panasonic

パーソナルコンピューター
操作マニュアル

品番 CF-M34シリーズ

もくじ

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
・付属の取扱説明書とともによくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、本マニュアルを印刷しておくことをおすすめします。

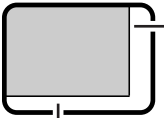
操作マニュアルの表記上の規則

[スタート]-[Windowsの終了]	:画面の「スタート」をクリックした後、「Windowsの終了」をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
Enter	:Enterキーを押します。
Fn + F5	:キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押します。
☞ ○○ページ	:もくじの項目および（☞ ○○ページ）（緑色表示部）にカーソルを移動すると、カーソルが に変わります。この状態でクリックすると、操作マニュアルの該当ページが表示されます。
☞ 取扱説明書	:付属の取扱説明書を参照してください。

キーの組み合わせによる操作

お願い

- 以下のキーを繰り返し連続して押さないでください。
- 以下のキーをフラットパッド（マウス）や他のキーと同時に押さないでください。

キー	機能		ポップアップウィンドウ
Fn + F1 Fn + F2	LCDの輝度調整	輝度が変わります。	下げる 上げる
Fn + F3	画面表示の切り換え	外部ディスプレイ、LCDまたは同時表示が切り換えられます。再起動するか電源を切るとセットアップユーティリティでのディスプレイの設定が有効になります。	
Fn + F4	音声のオン･オフ	内蔵スピーカーから出る音を消します。再度押すと元に戻ります。電源を切るとセットアップユーティリティでのスピーカーの設定が有効になります。 **お知らせ** このキーの組み合わせでスピーカーをオフにすると、ビープ音も鳴らなくなります。	オフ オン
Fn + F5 Fn + F6	音量調整	内蔵スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。	下げる 上げる
Fn + F7 *	スタンバイ機能を使って電源オフ	現在表示されている画面がメモリーに保存されて電源が切れます。再度電源スイッチをスライドして電源を入れると保存された画面が表示されます。（ACアダプターが接続されているか、十分に充電されたバッテリーパックが取り付けられている状態で使用してください。）（☞ 12ページ）	
Fn + F9	バッテリーの残量確認	画面にバッテリーの残量が表示されます。（☞ 21ページ）	78% 残量表示（%） バッテリーパックが取り付けられていない場合
Fn + F10 *	休止状態機能を使って電源オフ	現在表示されている画面がハードディスクに保存されて電源が切れます。再度電源スイッチをスライドして電源を入れると保存された画面が表示されます。（☞ 12ページ）	
Fn + F12	画面をクリップボードにコピー	画面全体をクリップボードにコピーします。Fn + Alt + F12 を押すと選択されているウィンドウのみコピーできます。	

* セットアップユーティリティで [Fn+F7/Fn+F10 キー] が ［無効］に設定されている場合、このキーを押しても動作しません。工場出荷時は[有効]に設定されています。

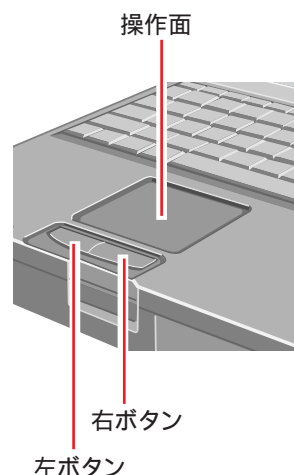
状態表示ランプ

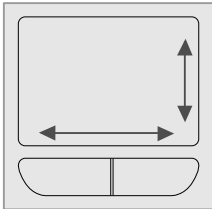
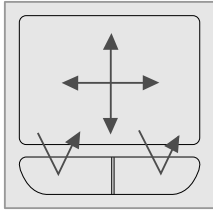
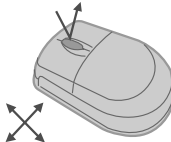
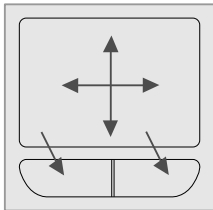
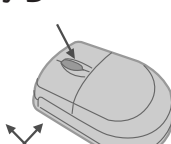
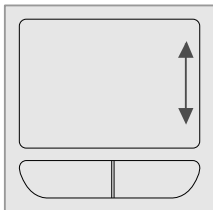
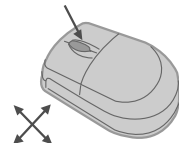
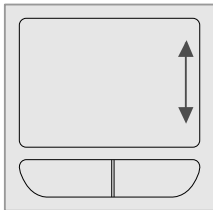
	NumLk (テンキーモード)	NumLk を押すとこのランプが緑色に点灯します。これによりキーボードの一部がテンキーとして機能します。（外部キーボードやテンキーボードを接続すると内部キーボードのテンキー操作は無効になります。）
	Caps Lock (キャップスロック)	Shift を押しながら Caps Lock を押すと緑色に点灯し、アルファベットを大文字で入力できます。
	ScrLk （スクロールロック）	Fn を押しながら ScrLk を押すと緑色に点灯します。使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
	ハードディスク状態表示	ハードディスクへのアクセス中に緑色に点灯します。
	バッテリーパック状態表示	無点灯 : ● ACアダプターが接続されていません。 ● バッテリーパックが装着されていません。 オレンジ色点灯 : バッテリーパックの充電中です。 緑色点灯 : バッテリーパックの充電完了です。 赤色点灯 : バッテリーパックの残量が少なくなりました。（残量約9%以下） 赤色点滅 : バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。 オレンジ色点滅 : 充電できない状態です。 ● バッテリーパックの内部温度が充電可能な温度の範囲外のため充電できません。 ● 消費電力が大きすぎると充電できなくなることがあります。
	電源状態表示	無点灯 : 電源オフまたは休止状態です。 緑色点灯 : 電源オンの状態です。 緑色点滅 : スタンバイ状態です。

フラットパッドの操作

フラットパッドを使う

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
フラットパッドの取り扱いについては6ページを参照してください。
フラットパッドには以下の2つのモードがあります。

インテリマウス™ ホイール互換モード（お買い上げ時の設定）	基本モード
インテリマウスホイール互換モードはホイール互換のアプリケーションに対して操作が可能です。（スクロール、ズームなどインテリマウスの機能とほとんど同じ） インテリマウスは、2 つのボタンに加えて前後に回転可能なホイールを持つマウス型デバイスです。	ホイール機能に対応していないアプリケーションに対してスクロール操作が可能です。 設定によっては、縦スクロール、横スクロールが可能です。
スクロール領域 縦スクロール パン機能とオートスクロール機能に対してはフラットパッドの全領域がスクロールに使用可能	**スクロール領域** **縦スクロール** [縦方向を使う]にチェックマークがついているとき有効 **横スクロール** [横方向を使う]にチェックマークがついているとき有効

：通常のマウス操作で使用する領域
[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[マウス]を選び、[マウスのプロパティ]の[TouchPad]で[Scroll Configration]の[Intellimouse Wheel mode]、[Vertical] と [Horizontal]にチェックマークが入っていない場合、フラットパッドの全面が通常のマウス操作に使用できます。

お知らせ

アプリケーションソフトがホイール機能をサポートしているかどうかわからない場合は、どちらかのモードを使ってみてください。またアプリケーションソフトによってはどちらのモードでもスクロールできないことがあります。

●フラットパッドのモードを変更する

1 タスクバーの をダブルクリックして[TouchPad]タブを選ぶか、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[マウス]を選び、[マウスのプロパティ]の[TouchPad]タブを選ぶ
2 ● インテリマウスホイール互換モードにする場合
  [Scroll Configration]の[IntelliMouse Wheel mode]にチェックマークを付ける。
  ● 基本モードにする場合
  [Scroll Configration]の[IntelliMouse Wheel mode]のチェックマークを外し、使用したい[Vertical]や[Horizontal]にチェックマークを入れる。
3 [OK]を押す。

フラットパッドとインテリマウス™

ここでは、フラットパッドとインテリマウスのスクロール操作を比較して説明します。各機能の動作はアプリケーションソフトによって異なることがあります。

機能	デバイスの操作	
	フラットパッド	インテリマウス
スクロール 文書を縦方向または横方向にスクロールします。		ホイールを動かす
オートスクロール 文書を自動的にスクロールします。 フラットパッドから手を離しても、カーソルの形状が示す方向にスクロールします。	②スクロールしたい方向に操作面をなぞって手を離す ①２つのボタンを同時にクリックした後	①ホイールをクリックした後 ②マウスを動かす
パン 文書をさまざまな方向にスクロールします。ボタンまたはホイールを押している間、スクロールが続きます。	②操作面をなぞる ①２つのボタンを押しながら	①ホイールを押しながら ②マウスを動かす
ズーム 文書の表示を拡大/縮小します。	Ctrl＋	Ctrl＋
データズーム 文書を表示したり隠したりなど、エクスプローラの操作を実行します。	Shift＋	Shift＋

お願い

ホイール機能など追加機能を持つ外部マウスやトラックボールを接続している場合、追加機能の全部または一部が動作しないことがあります。追加機能を使用するには以下の手順に従って外部デバイス用のドライバーかアプリケーションソフトをインストールしてください。ただし、いったんドライバーまたはアプリケーションがインストールされると再度フラットパッドを有効にしてもフラットパッドの一部の機能（オートスクロールなど）が働かなくなることがあります。（下記の「フラットパッドを再度有効にする場合」を参照してください。）

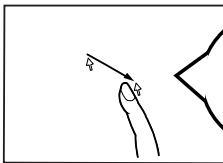
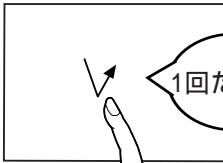
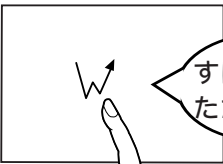
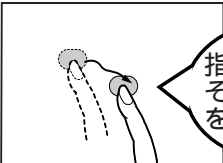
フラットパッドを無効にする場合：

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
[マウス]で[touchpad]を選び[削除]を選ぶ。削除のメッセージを確認して[OK]を選ぶ。
2 コンピューターの電源を切り、外部マウスかトラックボールを接続する。
3 電源を入れ、セットアップユーティリティを起動する（39ページ）。[メイン]メニューの[フラットパッド]を[無効]にしてセットアップユーティリティを終了する。
4 接続した外部マウスの取扱説明書に従って必要なドライバーをインストールする。
シリアルポートにマウスを接続した場合、スタンバイ・休止状態機能を使用しないでください。

フラットパッドを再度有効にする場合：

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]の[マウス]に外部マウスやトラックボールが表示される場合は、[削除]を選び、確認のメッセージが表示されたら[OK]を選ぶ。
2 コンピューターの電源を切り、外部マウスかトラックボールを取り外す。
3 電源を入れ、セットアップユーティリティを起動する（39ページ）。[メイン]メニューの[フラットパッド]を[有効]にしてセットアップユーティリティを終了する。
4 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]の[マウス]に[touchpad]が表示されるのを確認する。

フラットパッドが表示されないときは：

1 [プロパティ]-[ドライバ]-[ドライバの更新]で、[次へ]を選ぶ。
2 [特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し....]を選び、[次へ]を選ぶ。
3 [touchpad]を選び、[次へ]を選ぶ。
4 [ディスクの挿入]で[OK]を選ぶ。
5 [c:\util\drivers\mouse]と入力して、[OK]を選ぶ。
6 [完了]を選ぶ。
7 [システム設定の変更]で[はい]を選ぶ。

お知らせ

フラットパッドのダブルタップの速度は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[マウス]-[Tap and Buttons]の[Double-click Speed]を変更しても変更できません。

フラットパッドの取り扱い

- 操作面にものを置いたりツメなどの先のとがったもの、固いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえないでください。
- 油などでフラットパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動作しなくなります。
- **フラットパッドに汚れが付着した場合：**
ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

タッチパネル

画面上を軽く指先で触れると、カーソル移動やアイコンの選択などの基本操作を行うことができます。タッチパネルの詳細設定（☞ 8ページ）

機能		タッチパネルの操作
カーソル移動		触れた位置にカーソルが移動する
クリック（タップ）	のとき* アイコンの選択など	1回たたく
	のとき* プルダウンメニューの表示など	
ダブルクリック（ダブルタップ）プログラムの実行など		すばやく2回たたく
ドラッグ ・アイコンの移動 ・「エクスプローラ」でのファイルの移動 ・「ペイント」での描画 など		指を置いて、そのまま画面をなぞる

* タスクバーの（[Event Selector]アイコン）を切り換えるには：

をタップすると、 に切り換わります。画面上（以外の部分）をタップすると、 に戻ります。

お願い

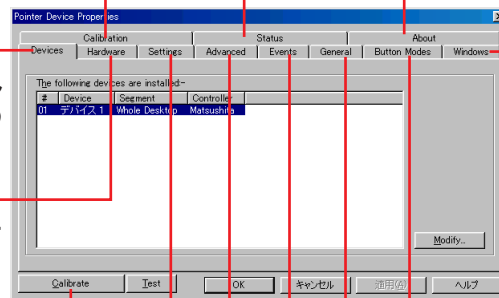
- タッチパネル機能は、MS-DOSモードおよびセットアップユーティリティーでは使えません。
- 1024×768または1280×1024で表示すると、タッチパネル機能が正常に動作しません。
- 画面の解像度を変更したり、カーソルが指で正しく指定できなかったりする場合は、[Calibrate]を実行してください。（☞ 8ページ）

タッチパネル（ディスプレイ）の取り扱い

- タッチパネル（ディスプレイ）の上に物を置かないでください。
- ディスプレイは必ず指先で押してください。（つめなど先のとがったもの、硬いもの、ボールペンなど跡が残るものでディスプレイを押さえないでください。）
- ディスプレイの周囲（外側の黒いキャビネット部分5 mm以内）は、押さえないでください。カーソルが画面の端に移動することがあります。
- ディスプレイが油などで汚れると、指先で操作してもカーソルが正常に動作しなくなります。また、ごみなどが付着したまま操作すると、ディスプレイ表面に傷が付く原因となります。ディスプレイが汚れた場合は、ガーゼなどの乾いたやわらかい布で、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどは使わないでください。

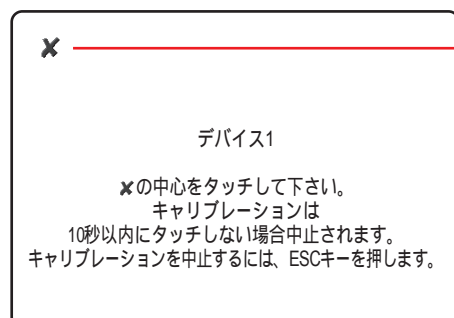
タッチパネルの詳細設定

1 タスクバーの をダブルクリックするか、[スタート]-[プログラム]-[Updd]-[調整設定]を選ぶ

お願い
- [Devices]の[Segment]は[Whole Desktop]以外に設定しないでください。
- 下記の「Windows」の設定は、フラットパッドにも反映されます。

2 必要項目を設定し、[OK]をクリックする

設定項目についての詳細は「ヘルプ」をご覧ください。

タッチパネルの補正（キャリブレーション）

画面の解像度を変更した後など、指先が触れた位置にカーソルが正しく移動しない場合は、上記画面で「Calibrate」を選び、タッチパネルを補正してください。

文字や図形を書く

タッチパネルにサインのような簡単な文字や図形を書いて、ビットマップ形式（.BMP）のファイルに保存することができます。

お願い

先の丸いもの（タブレットペン）で書いてください。
以下のようなものを使用しないでください。
・ドライバーやつめのような先のとがったもの
・ボールペンのような跡が残るもの

1 [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[Panasonic手書き]を選ぶ

2 タッチパネルに文字や図形を書く

お知らせ

- 保存できる、または他のアプリケーションに貼り付けできるビットマップイメージのファイルサイズは、[オプション]-[画面サイズの設定]で変更できます。
- 画像のサイズ変更は、描画を始める前に行ってください。
  描画した後にサイズを変更すると、画質が悪くなります。
- [編集]-[コピー]でデータがクリップボードにコピーされます。コピーされたデータは、貼り付け機能を使ってビットマップ形式をサポートするアプリケーションに貼り付けることができます。ビットマップ形式をサポートしないアプリケーションに貼り付けることはできません。

3 [ファイル]から[名前を付けて保存]または[保存]を選ぶ

お願い

- 他のアプリケーションソフトが同時に実行されていると正しく描画できないことがあります。この場合は、他のアプリケーションソフトを閉じた後で描画を開始してください。
- ディスプレイの色数を変更した場合、「Panasonic手書き」の画面が乱れることがあります。この場合は、タスクバーの を右ボタンでクリックし、「Panasonic手書きの終了」を選んだ後、再度「Panasonic手書き」を起動してください。

フラットパッドで使う

フラットパッドにサインのような簡単な文字や図形を書いて、ビットマップ形式（.BMP）のファイルに保存することができます。フラットパッド上の位置は、「Panasonic手書き」のウィンドウ上の位置に相当します。たとえば、フラットパッド上で左上に書かれた文字や図形は、「Panasonic手書き」のウィンドウ上の左上に表示されます。

1 [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[Panasonic手書き]を選ぶ

2 を選ぶか、[オプション]の[フラットパッドモード]を選ぶ

3 フラットパッドに文字や図形を書く

お知らせ

描画開始位置を決めるには：
フラットパッドの右ボタンを押して描画開始位置を決めてください。位置を決めたらボタンから指を離して書いてください。フラットパッドの右ボタンが押されていると描画できません。

4 フラットパッドモードを終了する

[Panasonic手書き]ウィンドウがアクティブになっていることを確認してフラットパッドの左ボタンを押してください。

お知らせ

以下の場合、フラットパッドモードは自動的に終了します。
- 他のアプリケーションに切り換えられたとき
- スタンバイまたは休止状態から復帰したとき
- [Panasonic手書き]の設定画面が表示されているとき
- Alt を押した後、メニューを選択したとき
- タッチパネルで[Panasonic手書き]ウィンドウを触ったとき

5 [ファイル]から[名前を付けて保存]または[保存]を選ぶ

お願い

ディスプレイの色数を変更した場合、「Panasonic手書き」の画面が乱れることがあります。この場合は、タスクバーの を右ボタンでクリックし、「Panasonic手書きの終了」を選んだ後、再度「Panasonic手書き」を起動してください。

画面反転を起動すると、画面が180°回転し、画面が反転した状態でタッチパネル機能を使うことができます。

タスクバーの をダブルクリックする、または Alt + Ctrl + R を押す

お知らせ

キーの組み合わせを変更する場合（3つめのキーのみ）：

1 タスクバーの を右ボタンでクリックする。

2 [画面反転ツールの設定]を選ぶ。

3 キーを選ぶ。

お願い

- 画面反転は以下のモードでしか使用できません。
  800×600 high Color（16ビット）
  800×600、256色
- 以下のアプリケーションソフトで動画を再生しているときは、反転できないことがあります。また、画面反転中は動画再生できないことがあります。
  メディアプレーヤー
  Direct Draw Applications
  MPEG overlay
- 外部ディスプレイが接続されている場合、外部ディスプレイの画面も同時に反転されます。
- 画面反転中は、Fn + F3 で画面切換はできません。
- 画面反転中でも、MS-DOSプロンプトの全画面表示は、通常の向きに表示されます。（フラットパッドの操作は、反転した状態です。）
- MS-DOSプロンプトの画面を全画面で表示中に、反転させると、MS-DOSプロンプト画面はアイコンになります。
- カーソルの動きが極端に遅くなるため、カーソルの軌跡が表示されるように設定されているときや「デザイン」（[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[マウス]-[ポインタ]）が設定されているときは、反転させないことをおすすめします。
- 画面反転中にCD+を使ったアプリケーションが起動されると、動画の画像が正しく表示されないことがあります。
- 「画面が反転できません。Direct Drawアプリケーションが起動されています。」というメッセージが表示されたら、起動されているアプリケーションソフトをすべて終了させてください。アプリケーションソフトをすべて終了させても変化がない場合、コンピューターを再起動してください。
- 画面反転中は、すべてのパフォーマンス（たとえばシリアルポートでのデータ通信速度が遅くなるなど）がわずかに落ちます。
- タッチパネルでのキャリブレーションのポイント数を変更した場合、反転する前と反転した後に[Calibrate]をそれぞれ実行してください。
- 画面反転後、タッチパネルが使用できるようになるまで、約4秒かかります。
- 画面反転中スタンバイ・休止状態に入ると画面反転が解除されます。
- 画面反転中は[画面]の[プロパティ]を表示させないでください。
- 画面反転中に3D MAZEのようなスクリーンセーバーが起動すると、反転状態が解除されることがあります。
- ドラッグ操作中、カーソルが飛ぶことがあります。

スタンバイ・休止状態機能

次回、すぐに操作をはじめるために

スタンバイまたは休止状態機能を使うと、電源を入れたときに、電源を切る前に使用していたアプリケーションソフトやファイルを画面に表示し、操作をすぐに再開できます。

●スタンバイ機能と休止状態機能の違い

機能	状態の保存先	立ち上がり速度	ACアダプターまたはバッテリーパックの接続
スタンバイ	メモリー	速い	必要 （スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。）
休止状態	ハードディスク	やや遅い	不要

スタンバイまたは休止状態機能を設定する

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源の管理]-[詳細]を選ぶ

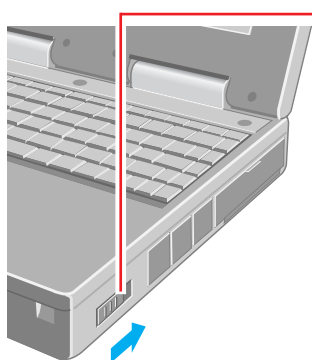
2 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「スタンバイ」または「休止状態」に設定し、[OK]を選ぶ

（工場出荷時は、「スタンバイ」に設定されています。また、「休止状態」は[休止状態]の[休止状態をサポートする]のチェックマークを外していると表示されません。）

お知らせ

スタンバイ機能の使用が長時間になる場合は、休止状態機能を使用してください。

スタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わる

あらかじめ「スタンバイ」または「休止状態」を設定しておいてください。（☞ 上記）

お願い

ピッというビープ音*が鳴ったら、電源スイッチから手を離してください。電源スイッチを4秒以上スライドしたままにするとスタンバイおよび休止状態機能が働かず電源が切れます。

* セットアップユーティリティで［スピーカー］が［無効]に設定されている場合や Fn + F4 を押してスピーカーをオフにしている場合、ビープ音は鳴りません。

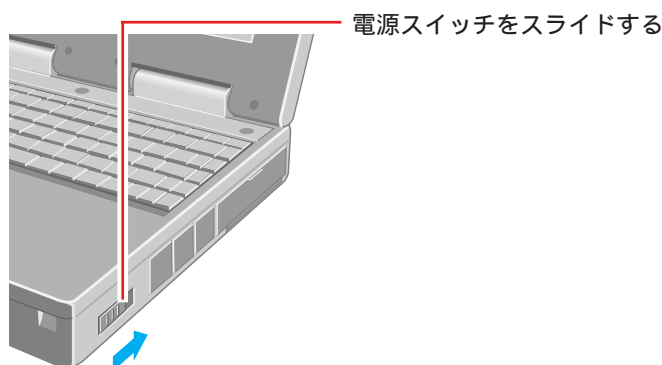
スタンバイ・休止状態機能

お知らせ

以下の方法でもスタンバイ機能または休止状態機能を使ってコンピューターの電源を切ることができます。
<スタンバイ機能の場合>
- Fn + F7 （☞ 2ページ）
- [スタート]-[Windowsの終了]を選び、[スタンバイ]を選ぶ

<休止状態機能の場合>
- Fn + F10 （☞ 2ページ）

操作を再開する

電源スイッチをスライドする

お知らせ

スタンバイおよび休止状態からリジュームする際、セットアップユーティリティで設定したパスワードの入力は要求されません。（☞ 14ページ）

お願い

- 画面が復帰してしばらくは初期化などが行われており、その間キー操作やフラットパッドは動作しません。約15秒間待ってから操作を始めてください。（LANが使用可能に設定されていてLANケーブルが接続されていない場合、さらに数10秒間初期化に時間がかかることがあります。）この間にWindowsの終了や再起動、およびスタンバイ・休止状態機能を使った終了操作を行うと正常に動作しなくなります。
- スタンバイ・休止状態中に周辺機器を取り付けたり取り外したりしないでください。正常に動作しなくなります。
- 操作を再開した後、フラットパッド、タッチパネル、モデム、PCカード、その他のシリアルデバイスが認識されないことがあります。この場合、本体を再起動するか、必要なデバイスを初期化してください。
- スタンバイ・休止状態機能を使って電源を切るときやスタンバイ・休止状態から電源スイッチを入れて操作を再開するとき（パスワード入力以外）は、完全に電源が切れるまたは完全に復帰するまで以下のことをしないでください。
  - ・キーボード、フラットパッド、タッチパネル、電源スイッチに触れる。
  - ・ACアダプターを接続する。
  - ・ディスプレイを閉じる。
- LAN等ネットワークに接続している場合は、スタンバイ・休止状態を使用しないでください。ネットワークに正常にアクセスできなくなります。

スタンバイ・休止状態機能についてのお願い

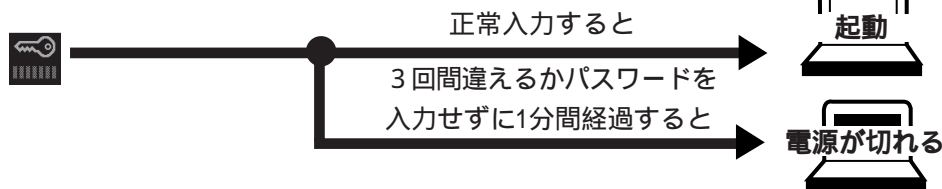
- 操作を終わる前に、データを保存してください。
- 操作を終わる時と操作を再開する時のスタンバイ・休止状態処理中は、フラットパッド、タッチパネル、外部マウスに触れないでください。操作を再開したとき、これらのデバイスが使えなくなる場合があります。この場合、キーボードで操作して再起動してください。
- 以下のとき、スタンバイ・休止状態機能を使って操作を終わらないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、機能や周辺機器が正常に動作しなくなることがあります。
  ・フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブ( )のランプ点灯中（ドライブアクセス中）
  ・オーディオの録音・再生中やMPEGの再生中
  ・通信ソフト動作中
  ・CDドライブや外付けのハードディスク、ATAカードなどの外部装置からファイルを開いているとき：
  ファイルを閉じた後、スタンバイ・休止状態機能を使ってください。
  ・SCSIカードを使っているとき：
  PCMCIAカードのプロパティーでSCSIカードを終了してからスタンバイ・休止状態機能を使ってください。また、SCSIカードを使っているとき、スタンバイ・休止状態機能を使って、SCSIカードが正常に動かなくなったときは、コンピューターを再起動してください。
- インストールされている以外のOSを起動しているとき、または静電気や電気的ノイズの影響を受けたときはスタンバイ・休止状態機能を使わないでください。これらの機能が正常に動作しない場合があります。
- Alt Ctrlまたは Shiftを押したまま、スタンバイ・休止状態機能を使って操作を終わると、操作を再開したときにこれらのキーが押された状態になります。これらのキーを1回押すと元の状態に戻ります。
- スタンバイ機能を使って操作を終わったとき（スタンバイ状態のとき）
  スタンバイ状態のときは、電力が消費されています。特に、PCカード（モデムカードなど）をセットしたままの場合、消費電力が増えることがあります。電力の供給がなくなると保持されていたデータが失われますので、ACアダプターを接続しておいてください。
- コンピューターの動作を安定させるため、定期的に（1週間に1回程度）、スタンバイ・休止状態機能を使わずにWindowsを終了することをおすすめします。
- セットアップユーティリティでパスワードを設定していても、スタンバイ・休止状態からのリジューム時にはセットアップユーティリティで設定したパスワードの入力は要求されません。
  [コントロールパネル]-[パスワード]でユーザーのパスワードを設定し、[コントロールパネル]-[電源の管理]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けると、リジューム時にパスワード入力画面が表示されます（工場出荷状態ではチェックマークは付いていません）。設定したパスワードを入力しないとリジュームすることはできません。
  また、パスワード入力画面で電源スイッチをスライドすると、[コントロールパネル]-[電源の管理]-[詳細]の[コンピュータの電源ボタンを押したとき]が[電源オフ]に設定されていた場合、シャットダウンが実行され、保持されていたデータは失われます。
- 休止状態に入る前に、フロッピーディスクを取り出しておいてください。
- CardBusタイプのカードを取り付けている場合、スタンバイ・休止状態機能を使うと、コンピューターが正常に動作しないことがあります。
- USB機器を接続した状態では、スタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合があります。また、コンピューターが正常に起動しなくなった場合はUSB機器を取り外し、再起動してください。
- 「モニタの電源を切る」（[コントロールパネル]-[電源の管理]-[電源設定]）とスクリーンセーバー（[コントロールパネル]-[画面]-[スクリーンセーバー]）の両方を設定していると、休止状態から正常に操作を再開できない場合があります。
- スクリーンセーバーを設定している場合、「MS-DOSプロンプト」を表示したまま休止状態に入らないでください。正常に操作を再開できない場合があります。
- 内蔵モデム、LAN、タスクスケジューラによるリジューム機能を使用した場合、画面に何も表示されないことがあります。キーボードを操作すると、元の画面が表示されます。
- MS-DOSプロンプト画面が一番手前にある状態でスタンバイや休止状態に入った場合、リジューム時、画面に何も表示されないことがあります。その場合は、Alt + Tab を押してください。

セキュリティ機能

データや機器の盗難、機密保護を目的としたセキュリティ機能を使うことができます。
不測の事態に備えて、このセキュリティ機能を活用することをおすすめします。

コンピューターを無断で使用されたくないとき

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定します。（ユーザーパスワードはスーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。）パスワードを知らないとコンピューターを起動することができないので、重要なデータの機密保護に有効です。

●スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワードのいずれかを設定していて、起動時のパスワードが有効になっていると

* セットアップユーティリティで設定されているパスワードです。（Windowsのパスワードではありません。）

●スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動すると

セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。（39ページ）

●ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動すると

「詳細」メニューが設定できません。
[ユーザーパスワード保護]が［保護する]に設定されている場合、ユーザーパスワードは設定／変更できません。
[ユーザーパスワード保護]が［保護しない]に設定されている場合、ユーザーパスワードは設定／変更できます。
（39ページ）

お知らせ

パスワードを設定していて起動時のパスワードが無効になっている場合、コンピューター起動時にパスワードは不要ですが、セットアップユーティリティ起動時にパスワードが必要になります。これにより、セットアップユーティリティの内容を変更されるのを防ぐことができます。

スーパーバイザーパスワードを設定する（変更または無効にする）

1 セットアップユーティリティを起動する（ 39ページ）

2 → ←で「セキュリティ」を選ぶ

3 ↑ ↓で「スーパーバイザーパスワード設定」を選び、Enterを押す

4 <スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ>

「現在のパスワードを入力してください」の[ ]にパスワードを入力し、Enterを押す

5 「新しいパスワードを入力してください」の[ ]に新しいパスワードを入力し、Enterを押す

●スーパーバイザーパスワードを無効にするとき

何も入力しないでEnterを押す

6 「新しいパスワードを確認してください」の[ ]に手順5で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す

●スーパーバイザーパスワードを無効にするとき

何も入力しないでEnterを押す

7 確認の画面で Enterを押す

8 F10 を押し、「はい」を選ぶ

お知らせ

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- 入力可能な文字は、半角の英数字で、最大７文字までです。大文字、小文字の区別はありません。
- ShiftやCtrlなどの特殊キーと組み合わせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。

お願い

- パスワードは忘れないようにしてください。忘れたパスワードを解除する方法はありません。
  パスワードを忘れた場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
- セットアップユーティリティを起動しているときは、コンピューターから離れないでください。

ユーザーパスワードを設定する（変更または無効にする）

1 セットアップユーティリティを起動する（☞ 39ページ）

お知らせ

スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は設定してください。（☞ 16ページ）

2 → ← で「セキュリティ」を選ぶ

3 ↑ ↓ で「ユーザーパスワード設定」を選び、Enter を押す

4 <ユーザーパスワードが設定されているときのみ>

「現在のパスワードを入力してください」の[　　]にパスワードを入力し、Enter を押す

5 「新しいパスワードを入力してください」の[　　]に新しいパスワードを入力し、Enter を押す

●ユーザーパスワードを無効にするとき

何も入力しないで Enter を押す

6 「新しいパスワードを確認してください」の[　　]に手順5で入力したパスワードを再度入力し、Enter を押す

●ユーザーパスワードを無効にするとき

何も入力しないで Enter を押す

7 確認の画面で Enter を押す

8 F10 を押し、「はい」を選ぶ

お知らせ

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- 入力可能な文字は、半角の英数字で、最大７文字までです。大文字、小文字の区別はありません。
- Shift や Ctrl などの特殊キーと組み合わせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。

お願い

- パスワードは忘れないようにしてください。忘れたパスワードを解除する方法はありません。
  パスワードを忘れた場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
- セットアップユーティリティを起動しているときは、コンピューターから離れないでください。

ユーザーパスワードを無断で設定されたくないとき

・以下のようにして、ユーザーパスワード保護を設定してください。（☞ 15ページ）

1 ↑ ↓ で「ユーザーパスワード保護」を選び、Enter を押してください。
2 ↑ ↓ で「保護する」を選び、Enter を押してください。

ハードディスクに保存されているデータを読み書きされたくないとき

ハードディスク保護が有効に設定されていると、ハードディスクにもパスワードが設定されるため、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と完全に同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護は、スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。）
起動時のパスワードを設定しなくてもハードディスク保護を設定することはできますが、セキュリティのためには、起動時のパスワードも設定しておくことをおすすめします。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。）

ハードディスク保護を設定する（変更または無効にする）

お願い

ハードディスクを交換する前に、セットアップユーティリティの[ハードディスク保護]が[無効]になっていることを確認してください。

1 セットアップユーティリティを起動する（☞ 39ページ）

2 (→) (←)で「セキュリティ」を選ぶ

お知らせ

スーパーバイザーパスワードが設定されていない場合、[ハードディスク保護]は設定できません。
スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は設定してください。（☞ 16ページ）

3 (↑)(↓)で「ハードディスク保護」を選び、(Enter)を押す

4 ●ユーザーパスワードを有効にするとき
[有効]を選んで(Enter)を押す
「[重要]お知らせ」の画面が表示されたら (Enter) を押してください。

●ユーザーパスワードを無効にするとき
[無効]を選んで(Enter)を押す

5 (F10) を押し、「はい」を選ぶ

お知らせ

デフォルト設定では、[ハードディスク保護]は[無効]に設定されています。

省電力の方法

外出先や会議などコンセントのない場所では、コンピューターをバッテリーだけで使うことが多くなります。次のようなことに注意して、バッテリーを効率よく使いましょう。

省電力のコツ！

●使わないときは電源を切る（☞ 取扱説明書 『操作を始める / 終わる』）

●(Fn)+(F1) または (Fn)+(F2)でディスプレイの明るさを調整する

●(Fn)+(F7) または (Fn)+(F10)でスタンバイ・休止状態にしてから席を外す

●[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源の管理]で詳細設定を行う

タイムアウトなどを詳細に設定し、電力の消費を抑えることができます。

●LCDパネルを閉じる

[コントロールパネル]-[電源の管理]-[詳細]-[ポータブルコンピュータを閉じたとき]の設定でLCDパネルを閉じたときの設定ができます。

お願い

ネットワーク環境でお使いの場合

スタンバイおよび休止状態機能は使用しないでください。ネットワーク機能をお使いになる場合、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」に設定してください。操作を再開した後、ネットワーク接続ができなかったり、コンピューターが正常に動作しなくなる場合があります。

シリアルポートなどに高速モデムやISDNのターミナルアダプターなどを接続して通信を行う場合

省電力の設定を有効にして高速通信を行うと通信が正常に行われない場合があります。

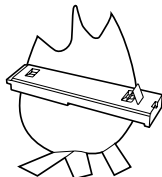
各タイムアウトの時間誤差

設定したタイムアウトの時間は、1分程の誤差を生じることがあります。

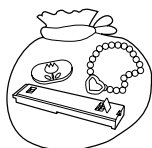
バッテリーパック

バッテリーパックに関する注意　⚠危険

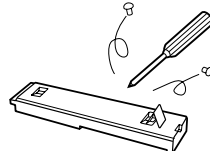
火中に投入したり加熱したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

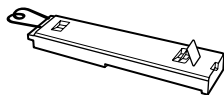
ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

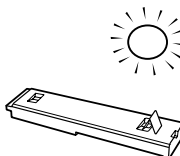
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない

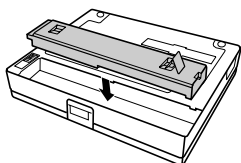
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-M34シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

お願い

- バッテリーパックの端子に触れないでください。端子が損傷すると、システムの性能が悪くなるおそれがあります。
- バッテリーパックをぬらさないでください。
- 本機では過充電を防ぐため、満充電後は電池残量が95%未満にならないと、再充電ができないようになっています。電池残量が95%未満になるまで放電してから充電するようにしてください。
- 長期間（約1か月以上）使わない場合は、バッテリーパックの性能維持のため、3～4割程度の充電状態でコンピューターから取り外し、冷暗所に保管してください。
- 工場出荷時には、バッテリーは充電されていませんので、お使いになる前には必ず充電してください。ACアダプターを接続すると自動的に充電が始まります。

お知らせ

- 通常の充電および放電時にも多少あたたかくなりますが、異常ではありません。
- 許容範囲内の温度（5 ℃～35 ℃）で充電してください。範囲外では充電が行われませんので、範囲内になるように、室温を調整するなどしてください。範囲内になると、自動的に充電が始まります。充電時間は、使用条件によって異なります。
- 温度が低いとバッテリーによる動作時間が短くなります。許容範囲内で操作してください。

バッテリーの状態が気になったら

バッテリー状態表示ランプで確認する

表示ランプ	バッテリーの状態
オレンジ色点灯*	充電中です。
緑色点灯*	充電が完了しています。バッテリーパックは満充電です。
赤色点灯	バッテリーの残量が少なくなりました。（バッテリー残量約9%以下）
赤色点滅*	バッテリーパックまたは充電機能の故障が考えられます。 すぐにACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。この現象が繰り返し起こる場合は、販売店にご相談ください。
オレンジ色点滅*	● バッテリーパック内部の温度が、充電可能な温度の範囲外のため、充電できません。充電可能な温度に戻してからACアダプターを接続してください。 ● 消費電力が大きすぎると、充電できなくなることがあります。
無点灯	バッテリーパックが取り付けられていません。または取り付けていても充電が行われていません。

* ACアダプター接続時

●さらに詳しく残量を知りたい

Fn + F9 → 78% ― バッテリーパックの残量

お知らせ

- 以下のような場合、実際の電池残量と表示される電池残量との間に差が生じていることが考えられます。この場合、いったん満充電にしてから、放電ツールを実行してください。（24ページ）
  - ・バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く
  - ・バッテリー状態表示ランプのオレンジ点灯時に「99%」の表示が長く続く
  - ・使用時間が短いにもかかわらずバッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する（ACアダプターを接続せず、長時間スタンバイ状態にするとこのような状態になります。）
- バッテリーパックが取り付けられていない場合、 が表示されます。

残量が少なくなってきたら

データを保存し、操作を終了して電源を切ってください。

それから...
- ● ACアダプターをすぐに接続し、満充電されるまで接続してください。
- ● 充電してある予備のバッテリーパックがあれば、交換してから電源を入れてください。
- ● ACアダプターや予備のバッテリーパックがないときは、電源を切ったままにしておいてください。

赤色点灯
ビープ音*　(残量約9%) → スタンバイ状態(残量約2%)

* セットアップユーティリティ（または Fn + F4 ）でスピーカーを無効にしている場合、ビープ音は鳴りません。

充電のしかた

付属のバッテリーパックは、工場出荷時には充電されていません。
コンピューター本体にバッテリーパックを取り付けた状態でACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

1 ACアダプターを接続する

お知らせ

ACアダプターを取り外す場合は、③ → ② → ① の手順で行ってください。

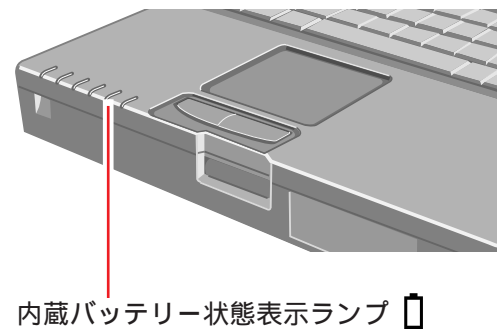
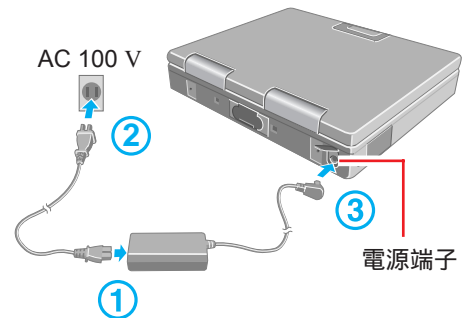
2 充電状態を確認する

<充電時間>

電源		
電源	入	約4 時間
	切	約3 時間

使用条件により長くかかることがあります。（低温の場合など）
また、電源入時の充電時間は、最短の場合です。コンピューターの動作状態により変わります。

お知らせ

充電を完了するとバッテリー状態表示ランプが緑色に点灯します。

バッテリーパックを交換する

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーによる動作時間が著しく短くなり、充放電を繰り返しても性能が回復しない場合は、新しいもの（品番：CF-VZSU15JS）と交換してください。

お願い

バッテリーパックの端子に触れないでください。端子がダメージを受けると、システムの性能が悪くなるおそれがあります。

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わず操作を終わる（☞ 取扱説明書 『操作を始める / 終わる』）

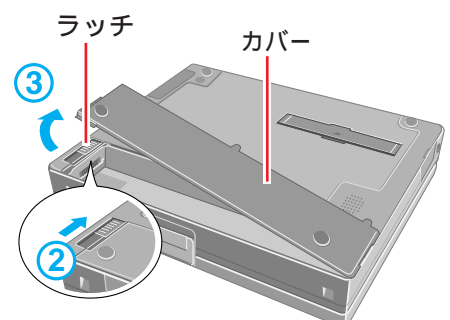
お願い

スタンバイ状態のとき、バッテリーパックの取り付け・取り外しを行わないでください。スタンバイ中に保持されていたデータが失われたり、バッテリーパックが破損したりして、正常に動作しなくなります。

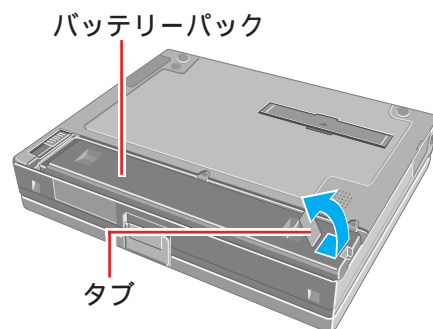
2 カバーを取り外す

① 本体を裏返します。

② ラッチをスライドしてロックを外します。

③ カバーを開けます。

（次ページへ）

3 バッテリーパックを取り外す

青いタブを持ってバッテリーパックを持ち上げます。

4 バッテリーパックを取り付ける

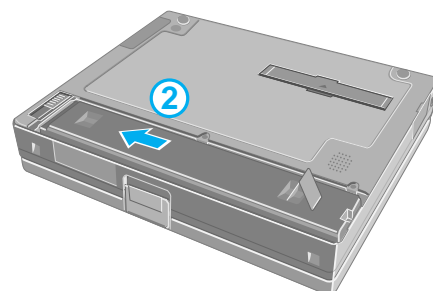
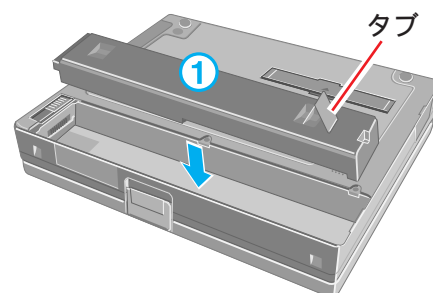
① 付属のバッテリーパックを入れます。

お願い

本体側のコネクターに触れないでください。コンピューターが正常に動作しなくなることがあります。

② バッテリーパックがカチッとはまるまで矢印方向にスライドします。

お願い

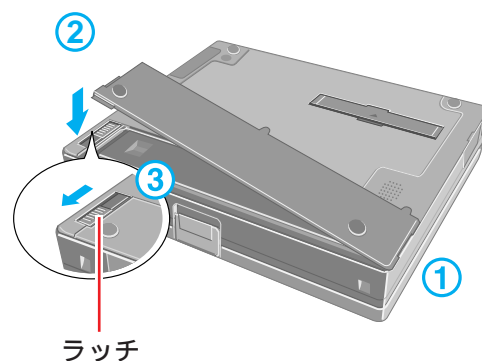
バッテリーパックがコネクターに正しく接続されていることを確認してください。

5 カバーを取り付ける

① 右端のフックをみぞに差し込みます。

② カバーを閉じます。

③ ラッチをスライドしてロックします。

お願い

ラッチが正しくロックされていることを確認してください。ラッチがロックされていない状態でコンピューターを持ち運びすると、カバーが開いてバッテリーパックが落ちることがあります。

不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先

・お買い上げの販売店、または最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
　詳しくは、社団法人電池工業会にご確認ください。
　電話：03-3434-0261
　ホームページ：http://www.baj.or.jp/

バッテリー容量を正確に表示させるために

本機のバッテリーパックには、バッテリー容量を計測し、記憶・学習するための機能があります。この機能を正しく働かせて、バッテリー残量を正確に表示させるため、以下の手順に従って、満充電→完全放電→満充電の操作を行ってください。
この操作は、お買い上げ後、一度は行っておいてください。また、長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合も、再度、この操作を行ってください。

1 バッテリーパック装着後、ACアダプターを接続する

充電が始まります。

お願い

下記手順2の操作が完了し、バッテリー状態表示ランプが緑色になるまでは、ACアダプターを取り外さないでください。バッテリー容量を正しく計測できなくなります。

2 内蔵バッテリー状態表示ランプが緑色になったら、放電ツールを実行する。

[スタート]-[Windowsの終了]をクリックし、[MS-DOSモードで再起動する]を選んで[OK]をクリックする。

MS-DOSのプロンプト（C:\WINDOWS>）に続けて、以下のように入力して放電ツールを実行する。

battref2 /g Enter

確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
この後、以下のように自動的に処理が流れます。

バッテリー状態表示ランプが消灯する

↓

バッテリー状態表示ランプが赤点灯する

↓

自動的にコンピューターの電源が切れる

満充電状態で放電ツールを実行した場合、自動的に電源が切れるまでに、約3時間かかります。

↓

充電が始まる

バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯したらコンピューターの電源を入れて使用してもかまいません。

お願い

- 放電ツール実行後、自動的に電源が切れるまではコンピューターを操作しないでください。
- 充電開始直後に、バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点滅した場合は（☞ 21ページ）

フロッピーディスクドライブ

以下の別売りのフロッピーディスクドライブが使用できます。

- USB接続のフロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03JS）*1
- 別売りのポートリプリケーター（CF-VEB341JS / CF-VEB342JS）*2接続のフロッピーディスクドライブ（CF-VFDU01JS）

*1 セットアップユーティリティの[レガシーUSB]を[有効]にし、[フロッピードライブ]を[CF-VFDU03（USB）]に設定しておいてください。

*2 セットアップユーティリティの[レガシーUSB]を[有効]にし、[フロッピードライブ]を[CF-VFDU01]に設定しておいてください。

セットアップユーティリティの[フロッピードライブ]の設定とドライブ名の対応は、以下のとおりです。

セットアップユーティリティ	CF-VFDU01	CF-VFDU03（USB）
CF-VFDU01	A	D*
CF-VFDU03（USB）	-	A

* 他のデバイスがこのドライブ名に割り当てられている場合、別のドライブ名（E、Fなど）が割り当てられます。

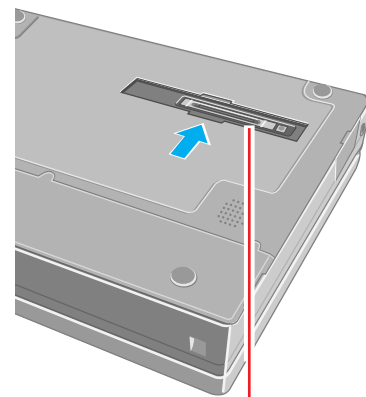
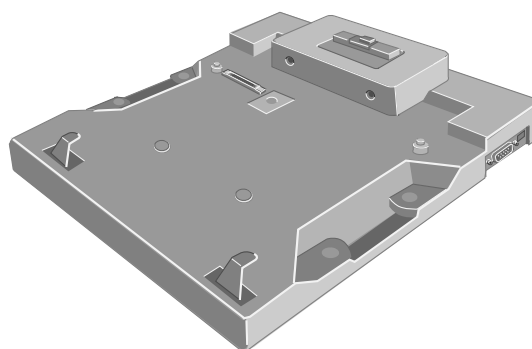
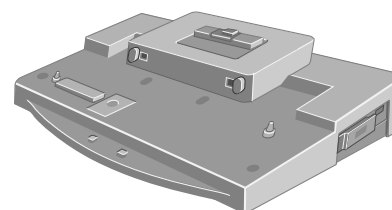
お知らせ

USB接続のフロッピーディスクドライブやUSB接続のCDドライブから起動する場合は、コンピューター本体側のUSBコネクターを使用してください。

お願い

CF-VFDU03JS以外のUSBフロッピーディスクドライブをお使いの場合、フロッピーディスクドライブを起動ドライブとして使用できないため再インストールなどの操作はできません。

ポートリプリケーター

コンピューター底面の拡張バスコネクターに別売りのポートリプリケーター（CF-VEB341JS / CF-VEB342JS）**を接続して使用することができます。**
ポートリプリケーターにいろいろな周辺機器を接続しておけば、コンピューターを持ち運ぶときにケーブルを何本も接続したり外したりする必要がなくなります。
詳細についてはポートリプリケーターに付属の取扱説明書をお読みください。

拡張バスコネクター

ポートリプリケーター
CF-VEB341JS

ミニポートリプリケーター
CF-VEB342JS

PCカード

本機にはPCカード用スロットが1つあります。
PC Card Standard **規格に準拠したPCカードを使うことにより通信機能を活用したりSCSI機器などの周辺機器を接続することができます。カードは厚みによってタイプI（3.3 mm）、タイプII（5.0 mm）、タイプIII（10.5 mm）の3つのタイプがあります。本機で取り付けることができるのは、タイプIまたはタイプIIのカードです。**

お願い

- PCカードの定格を確認して動作電流の合計がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。
  （許容電流→3.3 V：400 mA、5 V：400 mA　スロットごとの許容電流です。他の周辺機器等による負荷がない場合のカードスロット単体での数値です。）
- SRAMカード、FLASHカード（ATAインターフェースを除く）、ZVカードはサポートしていません。
- 以下の場合は、必ず電源を切った状態で行ってください。
  - ネットワークカードの取り外し
  - CardBusタイプのカードを別のカード（CardBusタイプのカードを含む）と交換するとき

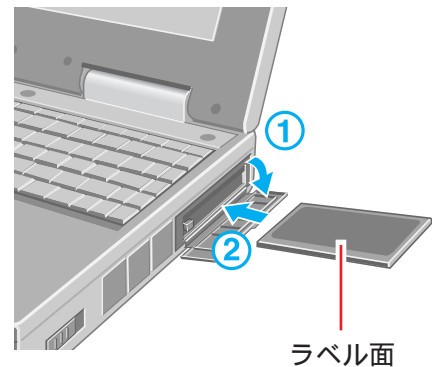
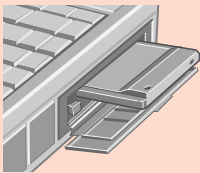
●セットするとき

① カバーを開けます。

② カードのラベル面を上にして、ゆっくりと奥まで差し込みます。

ラベル面

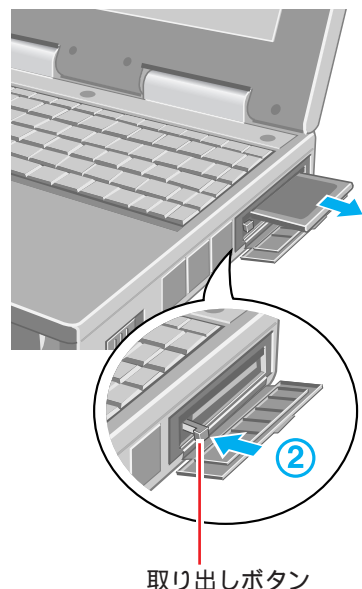
お願い

- カードを差し込むとき、重く感じた場合は無理に差し込まないでください。PCカードスロットが破損し、カードが取り出せなくなります。
- カードの形状によっては、装着後、外に突き出たままになるものもあります（☞下図）。無理に押さないよう注意してください。無理に押すとスロットが破損する場合があります。

●取り外すとき

お願い

スタンバイおよび休止状態のとき、PCカードを取り外さないでください。

① [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[PCカード]-[ソケットの状態]を選び、取り外すPCカードを選んで[終了]を選びます。
（電源を切った状態で取り外す場合、この手順は不要です。）

② 取り出しボタンを押すと、取り出しボタンが飛び出しますので再度押してカードを取り出します。

RAMモジュール

RAMモジュールを増設し、メモリーを増やすことによってWindowsやアプリケーションソフトの操作がより快適になり、作業効率をアップすることができます。
下記指定以外のRAMモジュールを使用すると、正常に動作しないだけでなく故障の原因になる場合があります。

64 Mバイト RAMモジュール
　品番:CF-BAF1064JS
128 Mバイト RAMモジュール
　品番:CF-BAF0128JS

推奨RAMモジュール 仕様
144ピン, SO-DIMM, 3.3 V , SDRAM ,100 MHz*

* 66 MHzのRAMモジュールは使用しないでください。

お願い

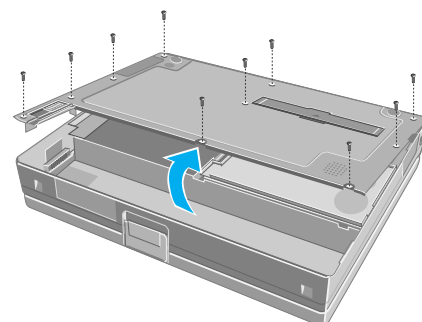
RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、端子などに触れないようにしてください。また、本体内部の部品や端子などに触ったり、ゼムクリップなどの異物を入れないでください。機器が破損したり、火災・感電の原因になります。

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わず操作を終わる

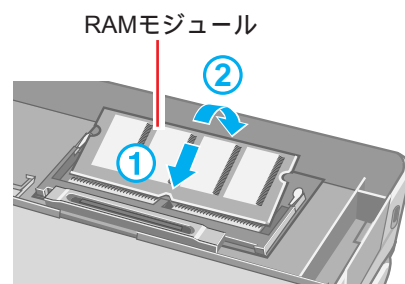
（ 取扱説明書 『操作を始める / 終わる』）

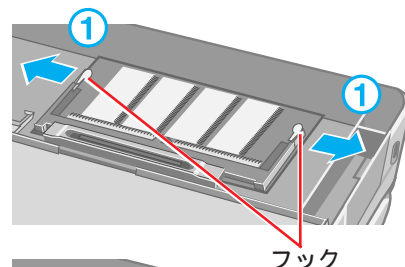
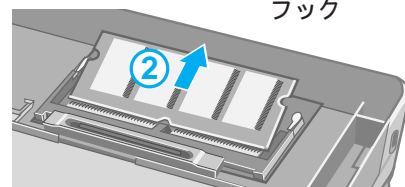
2 ACアダプターとバッテリーパックを取り外す

3 カバーを取り外す

ドライバーを使って10個のビスを取り外し、図のように底面のカバーを取り外します。

4 ●取り付けるとき

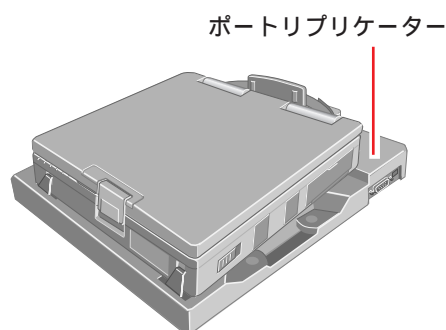
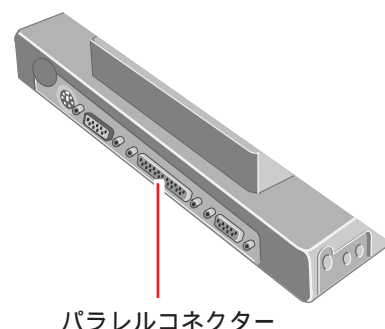
① RAMモジュールを斜めから差し込みます。

② 左右のフックでロックされるまで倒します。

●取り外すとき

① 左右のフックを外側に広げます。

② ゆっくりとスロットから取り出します。

5 カバーを取り付ける

プリンター

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わず操作を終わる
（☞ 取扱説明書 『操作を始める / 終わる』）

2 本機をポートリプリケーターに接続する

3 プリンターをポートリプリケーターのパラレルコネクターに接続する

4 プリンター、本機の順に電源を入れる

5 プリンターを設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選び、プリンターのアイコンを選んで[ファイル]-[通常使うプリンタ]を選びます。
接続したプリンターのアイコンがない場合、[プリンタの追加]を選び、ドライバープログラムの設定を行います。

お知らせ

プリンターに付属のドライバーディスクが必要になる場合があります。画面に表示されるメッセージまたはプリンターに付属の取扱説明書に従って操作してください。

外部ディスプレイ

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わず操作を終わる
（ 取扱説明書 『操作を始める / 終わる』）

2 本機をポートリプリケーターに接続する

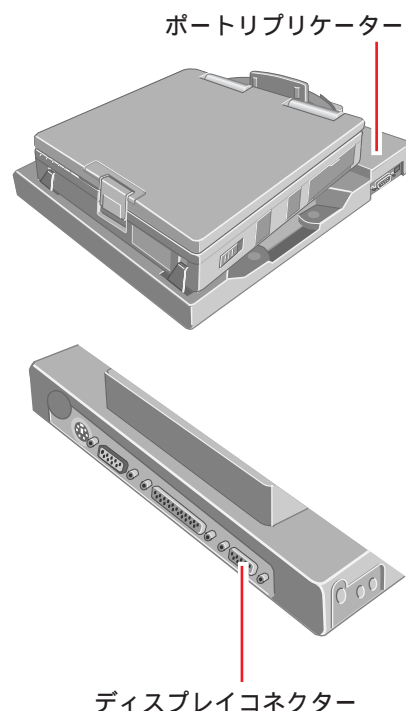
3 外部ディスプレイをポートリプリケーターのディスプレイコネクターに接続する

お知らせ

外部ディスプレイの設定・準備については外部ディスプレイに付属の取扱説明書をお読みください。

4 外部ディスプレイ、本機の順に電源を入れる

Fn + F3 で表示先を切り換えることができます。
また、起動時にどの画面に表示するかは以下の手順で設定できます。

1 セットアップユーティリティを起動する（39ページ）。
2 →←で「メイン」を選ぶ。
3 ↑↓で「ディスプレイ」を選び、Enter を押す。
4 ↑↓で表示先を選び、Enter を押す。
5 F10 を押し、「はい」を選ぶ。
6 モニターの設定を行う。
[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[画面]を選び、[設定]-[詳細]-[モニタ]で設定を行う。
プラグアンドプレイでないモニターを接続した場合、[変更]を選んでモニターの設定を行ってください。

外部ディスプレイ

デュアルディスプレイモードを使う

別売りの外部ディスプレイを接続している場合、デュアルディスプレイモードを使うと内部LCDと外部ディスプレイを連続した表示領域として使うことができます。
内部LCDから外部ディスプレイにウィンドウのドラッグ移動ができます。

デュアルディスプレイモードを設定する

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックし、[画面]をダブルクリックする

2 [設定]をクリックする

3 外部ディスプレイ[2]をクリックする

4 「このモニタを使用可能にしますか？」で[はい]をクリックし、[OK]をクリックする

5 画像の領域・色数を設定する
[コントロールパネル]-[画面]-[設定]で設定します。
内部LCDと外部ディスプレイにはそれぞれモニター番号が付けられています。内部LCD[1]と外部ディスプレイ[2]をクリックし、それぞれに対して画面領域・色数を指定してください。

6 拡張表示位置を設定する
モニター番号をドラッグ＆ドロップし、実際の外部ディスプレイの配置位置にあわせると、操作がしやすくなります。

7 [OK]をクリックする

デュアルディスプレイモードを解除する

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックし、[画面]をダブルクリックする

2 [設定]をクリックする

3 外部ディスプレイ[2]をクリックする

4 「Windowsデスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のチェックマークを外す

5 [OK]をクリックする

お知らせ

- アプリケーションソフト（Panasonic手書きなど）によっては、デュアルディスプレイモードを使用できない場合があります。
- デュアルディスプレイモードを設定すると
  - 最大化ボタンをクリックするとどちらか一方のディスプレイに最大表示されます。
  - 最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。
  - デュアルディスプレイモードを設定しても、電源を切った状態で外部ディスプレイを取り外し、起動するとデュアルディスプレイモードは自動的に解除されます。
  - デュアルディスプレイモードを使うと、各種アプリケーションソフト（インターネットエクスプローラなど）のスクロール速度が少し遅くなります。
  - Fn + F3 は動作しません。

使用上のお願い

●起動アプリケーションソフトが画面に表示されないとき

アプリケーションソフトが外部ディスプレイ（モニター2）にある状態、または外部ディスプレイでそのアプリケーションを終了したあとで、拡張表示位置を変更したりデュアルディスプレイモードを終了したりすると、次回、起動したアプリケーションソフトが画面に表示されない場合があります。
<拡張表示位置を変更したあと、表示されなくなった場合>
起動したアプリケーションソフトは変更前の拡張表示位置に表示されています。
いったん、拡張表示位置を変更前の状態に戻してから、アプリケーションソフトを内部LCD（モニター1）に移動したあと、拡張表示位置を変更してください。
<デュアルディスプレイモードを終了したら表示されなくなった場合>
起動したアプリケーションソフトは外部ディスプレイ（モニター2）に表示されています。再度、デュアルディスプレイモードに設定し、アプリケーションソフトを外部ディスプレイ（モニター2）から内部LCD（モニター1）に移動した後、デュアルディスプレイモードを終了してください。

●壁紙、アイコン位置がずれるとき

壁紙：　壁紙を設定しなおしてください。
アイコン：アイコンの自動整列を実行してください。

●省電力機能について

デュアルディスプレイモードに設定しているときは、[コントロールパネル]-[電源の管理]-[電源設定]で「モニタの電源を切る」の「バッテリを使用中」を「なし」に設定してください。「なし」以外に設定していると、正しく表示されない場合があります。

●マウスポインターにアニメーションポインターを使うとき

「コントロールパネル」の「デスクトップテーマ」でテーマを変更したときなど、スタンバイや休止状態からリジュームしたときにエラーが発生することがあります。このような場合は、次の手順でマウスポインターを標準のポインターに変更してください。

1. 「コントロールパネル」の[マウス]をダブルクリックする。
2. 「ポインタ」タブをクリックする。
3. 「デザイン」の中から「Windowsスタンダード」を選択する。
4. [OK]をクリックする。

●イメージが外部ディスプレイに焼き付くことを避けるため、外部ディスプレイを使わないときはディスプレイの電源を切ってください。

●VESA DPMSに対応していない外部ディスプレイを使っている場合、内部LCDを閉じると外部ディスプレイの表示が正しく表示されない場合があります。この場合、外部ディスプレイの電源を切ってください。

画面領域・色数について

デュアルディスプレイモードで設定できる画面領域・色数の組み合わせは以下のとおりです。
色数について
High Color：65,536色
True Color：約1,600万色

内蔵LCD	外部ディスプレイ 256色		
	640×480	800×600	1024×768
800×600 256色	○	○	○
800×600 High Color	○	○	○

内蔵LCD	外部ディスプレイ High Color（16ビット）		
	640×480	800×600	1024×768
800×600 256色	○	○	○
800×600 High Color	○	○	○

内蔵LCD	外部ディスプレイ True Color（24ビット）		
	640×480	800×600	1024×768
800×600 256色	○	○	○
800×600 High Color	○	○	○

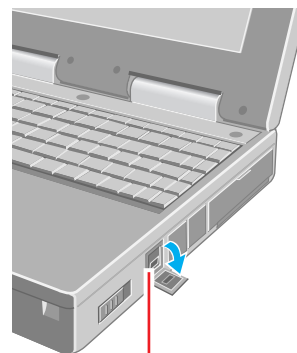
USB 機器

フロッピーディスクドライブ（☞ 25ページ）やプリンター、イメージスキャナーなどUSB対応のいろいろな周辺機器を使用することができます。

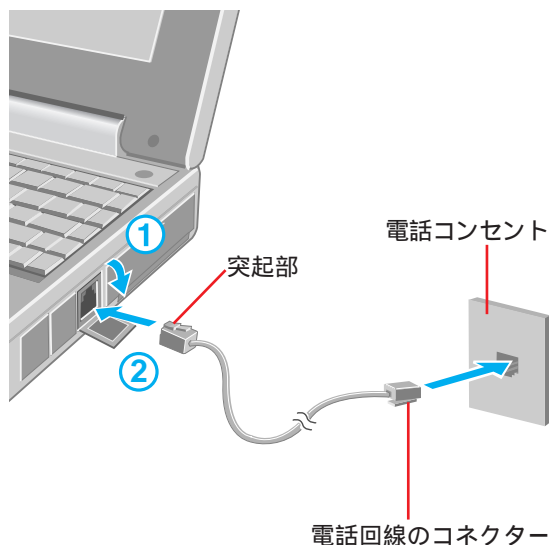
お知らせ

- USB機器は本体の電源を切らなくても取り付け／取り外しができます。
- 接続についてはUSB機器に付属の取扱説明書をお読みください。

お願い

- USB機器を接続した状態では、スタンバイおよび休止状態機能が正常に動作しない場合があります。また、コンピューターが正常に起動しなくなった場合はUSB機器を取り外し、再起動してください。
- USB接続のフロッピーディスクドライブやUSB接続のCDドライブから起動する場合は、コンピューター本体側のUSBコネクターを使用してください。
- USB機器のドライバーをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、USB機器に付属の取扱説明書をお読みください。

1 内蔵モデムと電話コンセントを接続する

① モデムコネクターのカバーを開けます。

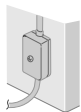
② 付属のモジュラーケーブルでコンピューターと電話コンセントをつなぎます。
突起部をコネクター（）の向きに合わせて、カチッと音がするまで差し込んでください。

⚠注意

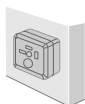
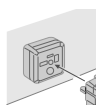
モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

お知らせ

- 取り外すときは、突起部を押さえながら引き抜いてください。
- モデムは、日本国内の一般電話回線で使用してください。
  - ・会社、事務所等の内線電話回線等には、接続しないでください。
  - ・以下の特性が異なる回線に接続すると、本機が故障する恐れがあります。
    - NTTのピンク電話の回線
    - ホームテレホン（接続ボックス）
    - 玄関ドアホン等
- 電話コンセントの種類は、モジュラージャック、ローゼット、3端子（または4端子）ジャックなどがあります。電話回線とのつなぎかたは、端子の種類によって異なります。モジュラージャックの場合、付属のモジュラーケーブルをそのままつなぎます。

<ローゼットの場合>

最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。
資格のない方が工事をすることは認められていません。

<3端子（または4端子）ジャックの場合>

以下の2とおりの方法があります。
・最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。資格のない方が工事をすることは認められていません。
・一方がモジュラープラグで、他方が3端子（または4端子）プラグのケーブル（市販品）を用意し、以下のようにつなぎます。

本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

（次ページへ）

2 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[モデム]を選ぶ

3 [ダイヤルのプロパティ]を選ぶ

国名などの必要な情報を入力して[OK]をクリックし、[閉じる]をクリックします。

モデムによるリジューム機能（モデムリングリジューム機能）

スタンバイ状態のときに内蔵モデムに接続した回線に電話がかかると、コンピューターの電源が自動的に入る機能のことです。
不在時のファクス自動受信などを活用する際に便利です。
この機能を使用する場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアを起動し、待ち受け状態にしておく必要があります。詳しくは、ソフトウェアの説明書をご覧ください。

お願い

- スタンバイ状態からリジュームした場合、画面は真っ暗のままです。キーボードまたはフラットパッドを操作すると元の画面が表示されます。
- 休止状態からはリジュームできません。
- 内蔵モデム以外の回線に電話がかかってもリジュームできません。
- 「電源の管理」の「システムスタンバイ」の設定について
「システムスタンバイ」は、おおよその通信時間を考慮して設定してください。
通信中でも設定時間になるとスタンバイ状態に入り、通信が中断されることがあります。
「なし」に設定しておくと、通信の途中でスタンバイ状態に入ることはありませんが、いったんリジュームした後、長期不在の場合でも電源が入ったままになります。
- 内蔵モデムリングリジューム機能を使用している場合、電話がつながるまで時間がかかります（リジュームで起動する時間相当）。リジュームを行うには通常の電話呼び出しよりも長く呼び出しを行ってください。
送信側の呼び出しを長く設定できない場合は、電話の待ち受け状態を保存できるソフトウェアで着信までのベル回数を少なく設定してください。

LAN 機能

LAN(Local Area Network)とは、会社や学校など小規模な範囲で運用されるネットワーク環境をいいます。
本機はLAN機能を内蔵しているため、LANカードなどを使用することなく、ネットワークコンピューターとして使うことができます。

LANへの接続・設定を行う

以下の手順に従い、LANの設定を行ってください。

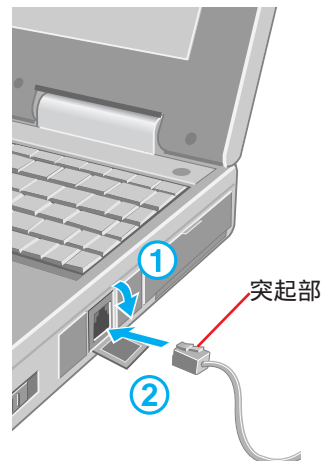
1 ケーブルを接続する

① LANコネクターのカバーを開けます。

② LANケーブルでコンピューターとネットワークシステム（サーバー、HUBなど）をつなぎます。
突起部をコネクターの向きに合わせて、カチッと音がするまで差し込んでください。

突起部

お願い

- コネクター部分にカバーが付いているLANケーブルは、接続できない場合があります。事前にご確認ください。
- ネットワークを正常に動作させるために100 m未満のカテゴリー5のツイストペアケーブルを使用してください。

2 LANを有効にする

工場出荷時は有効に設定されています。

1 電源を入れ、セットアップユーティリティを起動する（☞ 39ページ）。
2 (→)(←)で「詳細」を選ぶ。
3 (↑)(↓)で「モデム/LAN」を選び、(Enter) を押す。
4 (↑)(↓)で「有効」を選び、(Enter) を押す。
5 (F10)を押して「はい」を選び、(Enter) を押す。

3 内蔵LANドライバーを使用可能に設定する

工場出荷時は使用不可に設定されています。

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]で、[システム]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2 [ネットワークアダプタ]-[Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)]をダブルクリックする。
3 「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェックマークを外し、[OK]を選んで[閉じる]をクリックする。
（終了処理に多少時間がかかることがあります。）
4 コンピューターを再起動する

4 接続するLAN環境に合わせて、プロトコルなどの各種設定を行う

詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

お願い

- ネットワーク機能を使用する場合、スタンバイおよび休止状態機能は使用しないでください。正常に通信できないことがあります。
- ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
- HUBユニットのリンクランプが点灯せず、ネットワーク機能が使えない場合
  1. [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]を選ぶ。
  2. [Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)]をダブルクリックする。
  3. [詳細設定]を選ぶ。
  4. 「プロパティ」から「Link Speed & Duplex」を選び、「値」をお使いのHUBユニットにあった通信速度（10 Mbpsまたは100 Mbps）に設定する。
  5. [OK]で終了する。

内蔵LANによるリジューム機能（内蔵LAN Wake Up機能）

ネットワークサーバーからのアクセスにより、スタンバイまたは休止状態のコンピューターをリジュームさせる機能です。
この機能を使用するには、LANによるスタンバイまたは休止状態からのリジュームが可能なネットワーク環境が必要です。
詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
<設定の方法>

1. [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]で、[システム]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2. [ネットワークアダプタ]の[Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)]をダブルクリックする。
3. [電源の管理]をクリックし、「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」の左側の□をクリックしてチェックマークを付ける。
4. [OK]をクリックする。

お知らせ

- 必ず、ACアダプターを接続し、電力の供給が可能な状態にしてください。
- LAN Wake Up機能を使用する場合、[コントロールパネル]-[電源の管理]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けないでください。
- LAN Wake Up機能は、以下の場合は動作しません。
  -[Windows]の終了画面から電源を切った場合
  -MS-DOSモード上でスタンバイまたは休止状態にしている場合
  -パスワード入力に失敗して、再びスタンバイ、休止状態、電源オフ状態になった場合

セットアップユーティリティ

起動する

1 Windowsを終了して再起動する

[スタート]-[Windowsの終了]をクリックし、[再起動する]を選んで[OK]をクリックする。

2 「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに(F2)を押す

お知らせ

- (F2)を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。その場合、Windowsを終了して再度やり直してください。
- [パスワードを入力してください]が表示されたら、パスワードを入力してください。
  ただし、ユーザーパスワードを入力してセットアップユーティリティを始めた場合、[詳細]と[セキュリティ]のメニューはメイン画面に表示されません。
  [詳細]と[セキュリティ]のメニューを表示させるには：
  1 コンピューターを再起動し、「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているとき(F2)を押す
  2 [パスワードを入力してください]が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力する
  ただし、パスワードを入力しても[セキュリティ]メニューの[ユーザーパスワード設定]は設定できません。
- 詳しくは (F1)を押して「ヘルプ」を参照してください。

キー操作

下記のキーのうち、画面下側に表示されているものが使用できます。

キー	説明
(F1)	:一般ヘルプが画面に表示されます
(←)(→)	:「メイン」「詳細」「セキュリティ」「省電力管理」「起動」「終了」の各メニューを選ぶときに使用します。
(↑)(↓)	:カーソルが上下に移動します。項目を選ぶときに使用します。
(F5)(F6)	:各項目の設定値を選ぶときに使用します。
(Enter)	:(↑)(↓)で項目を選んだ後に押すと、各設定項目のサブメニュー画面が表示されます。
(F9)	:各項目の設定値をデフォルト値にします。
(F10)	:設定を保存して終了します。
(Esc)	:「終了」メニューが表示されます。サブメニューでは、サブメニューを終了します。
(Tab)	:日時設定のとき、カーソルの移動に使用します。

終了する

☞ 44ページ

メインメニュー

BIOS バージョン:	Vx.xxLxx
システム時間:	[xx:xx:xx]
システム日付:	[xxxx/xx/xx]
メモリーサイズ:	xxxxxMB
ハードディスク:	xxxxxGB
NumLock:	[オフ]
フラットパッド:	[有効]
スピーカー:	[有効]
ディスプレイ:	[外部ディスプレイ]
拡張表示:	[無効]

パラメーター

＿ : 工場出荷時の設定

NumLock	オン オフ
フラットパッド	無効 有効
スピーカー	無効 有効
ディスプレイ	外部ディスプレイ 内部 LCD 同時表示
拡張表示	無効 有効

詳細メニュー

プラグ＆プレイ：	[使用する]
シリアルポートA:	[3F8/IRQ4]
シリアルポートB:	[2F8/IRQ3]
タッチパネル:	[2E8/IRQ7]
パラレルポート:	[378]
モード:	[双方向]
モデム／LAN:	[有効]
レガシーUSB：	[無効]
フロッピードライブ：	[CF-VFDU01]

設定項目

＿: 工場出荷時の設定

項目		設定
プラグ＆プレイ		使用しない 使用する
シリアルポートA*1		無効 3F8/IRQ4
シリアルポートB*1		無効 2F8/IRQ3
タッチパネル		無効 2E8/IRQ7
パラレルポート		無効 378
	モード *2	単方向 双方向 ECP EPP
モデム／LAN		無効 有効
レガシーUSB		無効 有効
フロッピードライブ *3		CF-VFDU01 CF-VFDU03（USB）

*1 [シリアルポートA]：コンピューター（CF-M34シリーズ）
[シリアルポートB]：ポートリプリケーター（CF-VEB341JS / CF-VEB342JS）
*2 [パラレルポート]が[378]に設定されているときのみ表示されます。
*3 [レガシーUSB]が[無効]に設定されている場合、[フロッピードライブ]は[CF-VFDU01]になります。

セキュリティメニュー

```
起動時のパスワード:                     [有効]
▸スーパーバイザーパスワード設定:         [Enter]
ハードディスク保護:                     [無効]
ユーザーパスワード保護:                 [保護しない]
▸ユーザーパスワード設定:                 [Enter]
プロセッサ・シリアル番号機能:           [使用しない]
```

お願い

ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したとき:
ユーザーパスワードはスーパーバイザーパスワードが設定されていて[ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されているときのみ変更できます。

設定項目

_: 工場出荷時の設定

項目	設定
起動時のパスワード *1	無効 有効
スーパーバイザーパスワード設定	サブメニュー表示
ハードディスク保護 *1*2	無効 有効
ユーザーパスワード保護 *2	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定	サブメニュー表示
プロセッサ・シリアル番号機能 *1*3	使用しない 使用する

*1 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときは表示されません。
*2 スーパーバイザーパスワードが設定されていないときは設定できません。
*3 [プロセッサ・シリアル番号機能]を[有効]にした場合、コンピューターを再起動してください。

省電力管理メニュー

電源スイッチ：	[ハイバーネーション]
パネルスイッチ：	[LCDオフ]
Fn+F7/Fn+F10キー：	[有効]
▸バッテリー使用時	
▸ACアダプター使用時	

設定項目

_：工場出荷時の設定
＝：「デフォルト設定」にした時の設定（工場出荷時と値が異なる項目のみ）

項目	設定値							
電源スイッチ *1	サスペンド ハイバーネーション オフ							
パネルスイッチ *1	LCD オフ サスペンド ハイバーネーション							
Fn+F7/Fn+F10 キー	無効 有効							
バッテリー使用時								
サスペンドタイムアウト *1*2	使用しない	5 分	10 分	15 分	20 分	30 分	40 分	60 分
ハイバーネーションタイムアウト *1*3	使用しない	5 分	10 分	15 分	20 分	30 分	40 分	60 分
AC アダプター使用時								
サスペンドタイムアウト *1*2	使用しない	5 分	10 分	15 分	20 分	30 分	40 分	60 分
ハイバーネーションタイムアウト *1*3	使用しない	5 分	10 分	15 分	20 分	30 分	40 分	60 分

*1 Windows起動後は動作しません。起動後は、「コントロールパネル」の「電源の管理」の設定に従って省電力が働きます。
*2 [サスペンドタイムアウト]は[電源スイッチ]が[サスペンド]に設定されているとき表示されます。
*3 [ハイバーネーションタイムアウト]は[電源スイッチ]が[ハイバーネーション]に設定されているとき表示されます。

起動メニュー

1.[フロッピードライブ]
2.[ハードディスクドライブ]
3.[USB CD ドライブ]

工場出荷時の設定は、[フロッピードライブ]-[ハードディスクドライブ]-[USB CDドライブ]の順です。

お知らせ

- オペレーティングシステムを起動するデバイスは、コンピューター起動時にも選択することができます。電源を入れ、「Press <ESC> to enter Boot First Menu」が表示されているときに Esc を押すと、デバイスの選択画面が表示されます。[起動]メニューの設定を変更すると、選択画面の表示も変更されます。
- 「USB CDドライブ」を起動ドライブに設定する場合、ブータブルCDをセットしてください。
- USB接続のフロッピーディスクドライブやUSB接続のCDドライブから起動する場合は、コンピューター本体側のUSBコネクターを使用してください。

終了メニュー

設定を保存して終了
設定を保存しないで終了
デフォルト設定する
設定を戻す
設定を保存する

お知らせ

起動時のパスワードが有効になっている場合は、Windowsが起動するまでにパスワードの入力が必要です。

設定項目

設定を保存して終了	設定内容を保存して終了する
設定を保存しないで終了	設定内容を保存しないで終了する
デフォルト設定する*	標準設定にする
設定を戻す	変更前の設定に戻す
設定を保存する	設定内容を保存する

* ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、この項目は表示されません。

休止状態用データ領域の作成

休止状態に入るには、ハードディスク上にメモリーの内容を保存するためのデータ領域を確保しておく必要があります。工場出荷時には、約270 Mバイトの領域が確保されています。

休止状態用データ領域は「ファーストエイドFD」のPEDPARTコマンドを使って作成します。

お知らせ

データ領域は、通常は変更する必要はありませんが、ハードディスクのパーティションを変更したときなどには確保し直す必要があります。

PEDPARTコマンドの使用方法

PEDPARTは「ファーストエイドFD」から起動したMS-DOS環境で実行してください。Windowsの「MS-DOSプロンプト」などから実行すると、正常に起動しません。

「/PEDPART/」コマンドには以下のオプションがあります。コマンドとオプションの間は、１スペース空けて入力してください。

オプション	内容
/RESIZE: [サイズ]	休止状態用データ領域を作成します。 [サイズ]にはメインメモリー相当の容量をメガバイト単位で指定します。（メインメモリーの容量以下の値を設定すると休止状態の機能を使用することができません。） データ領域の作成や削除などを行った後は、すぐに再起動してください。
/TOP	ハードディスクの先頭に休止状態用データ領域を設定します。（工場出荷時には先頭に設定されています。） (例) PEDPART /RESIZE:256 /TOP メインメモリーが256 Mバイト以下の状態で休止状態に入るために必要な領域をハードディスクの先頭に作成します。
/?	PEDPARTコマンドの使用方法などを表示します。

PEDPARTのエラーメッセージ

画面表示	原因・対策
パーティションテーブルの内容が不正です。	何らかの理由で、領域の管理情報が存在しません。FDISKコマンドで領域の管理情報を初期化する必要があります。 まず、FDISK /MBRコマンドを実行し、続いてもう一度FDISKコマンドを実行して、存在している「基本MS-DOS領域」を削除してください。 再起動の後、もう一度、PEDPARTコマンドを実行してください。
ハイバーネーション領域のための十分な空きがありません。	休止状態用データ領域を作成するためには、十分な容量を持った空き領域が必要になります。 既存の領域を削除するなどして、空き領域を作成してください。

Windows® 98関連ファイルのインストール

工場出荷時にはインストールされていない以下のフォルダーのファイルをインストールしたい場合は、下記の手順に従ってインストールしてください。

\add-ons　\cdsample　\drivers　\tools

インストールするには、ハードディスクのCドライブに十分な空き容量が必要です。

＜準備する物＞

- あらかじめ作成しておいたファーストエイドFD*1
- 「プロダクトリカバリーCD-ROM 2」（付属）
- フロッピーディスクドライブ*1：
  USB接続のフロッピーディスクドライブ（別売：CF-VFDU03JS）
  または
  ポートリプリケーター（別売：CF-VEB341JS / CF-VEB342JS）とフロッピーディスクドライブ（別売：CF-VFDU01JS）
- PCカード接続のCDドライブ（別売）またはUSB接続のCDドライブ*2（別売）

*1 USB接続のCDドライブを使用している場合は、必要ありません。
*2 USB接続CDドライブ：パナソニック製KXL-840AN（別売）、KXL-RW20AN（別売）
USB接続のCDドライブを使用している場合は、コンピューター側のUSBコネクターに接続してください。

1. CDドライブを接続し、「プロダクトリカバリーCD-ROM 2」をセットする。
2. ＜PCカード接続のCDドライブを使用している場合のみ＞
   フロッピーディスクドライブを接続し、「ファーストエイドFD」をセットする。
3. コンピューターの電源を入れる。
4. 「Press <F2> to enter SETUP」が表示されているときに、(F2) を押し、セットアップユーティリティを起動する。
5. (F9) を押す。
   確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter) を押す。
6. ＜USB接続のCDドライブを使用している場合＞
   - 「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「有効」にする。
   - 「起動」メニューで「USB CDドライブ」が1番目になるように (F5) (F6) を押して、設定する。

   ＜PCカード接続のCDドライブとUSB接続のフロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03JS）を使用している場合＞
   「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「有効」にし、「フロッピードライブ」で「CF-VFDU03（USB）」を選ぶ。
7. (F10) を押す。
   確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter) を押す。
8. ＜PCカード接続のCDドライブを使用していて、初めて再インストールする場合のみ＞
   使用するCDドライブを選び、(Enter) を押す。
   「A:\>」と表示されたら (Alt) + (Ctrl) + (Del) を押して再起動する。
9. ＜PCカード接続のCDドライブを使用している場合のみ＞
   「再インストールを開始しますか」と表示されたら (N) を押す。

お願い

必ず、(N) を押してください。
間違って (Y) を押してしまった場合は、その後の画面で「4.再インストールを中止する」を選んでください。

（次ページへ）

10 「A:\>」に続けて以下のように入力する。
L:\JA\ADDFILE L:
11 確認のメッセージが表示されたら(Y) を押す。
「c:\win98add」フォルダーにファイルがインストールされます。
12 インストール完了のメッセージが表示されたら任意のキーを押す。
コンピューターの電源が自動的に切れます。

ネットワーク接続や通信ソフトウェアについて

- 省電力のためディスプレイの電源が切られたり、スタンバイ（休止状態）に入るとネットワーク接続が切断されることがあります。ネットワーク環境でお使いの時は、[コントロールパネル]-[電源の管理]の[電源設定]で「常にオン」を選んでください。
- 通信ソフトウェア使用中に省電力機能が働くと、ネットワーク接続が切れたり、パフォーマンスが低下したりすることがあります。このような場合は省電力機能を使わないでください。

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。−デフォルト値が設定されました。	CMOSデータがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ● セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、適切な値に設定し直してください。 ● それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、「ご相談窓口」にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時間が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時間を正しく設定してください。
0280 起動を3回失敗しました。−デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてからOSが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。なお、正しくOSを起動すれば表示されることはありません。
02B0 フロッピーディスクAのエラーです。	● ドライブが正しく接続されているか確認してください。 ● 正しく接続してもエラーになる場合は、ドライブの故障が考えられます。「ご相談窓口」にご相談ください。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録して「ご相談窓口」にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。−バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。−キャッシュは使用できません。	CPUの故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

困ったときのQ&A

トラブルが発生した場合は、以下の方法を試してみてください。
アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

●電源を入れたとき

電源表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● 満充電されたバッテリーパックが取り付けられているか確認してください。 ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
が表示された	パスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
スタンバイおよび休止状態から操作を再開したとき、が表示されない	セットアップユーティリティでパスワードを設定し、[起動時のパスワード]を[有効]に設定していても、スタンバイおよび休止状態から操作を再開したときはパスワード入力は要求されません。パスワード入力が必要となるように設定するには、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源の管理]-[詳細]で「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてWindowsのパスワードを設定してください。
システム起動エラーが表示された	☞ 48ページ
メモリーカウント、Windows の起動および動作が極端に遅い	セットアップユーティリティ（☞ 39ページ）を起動してください。「デフォルト設定する」を選び、いったん標準設定(パスワード設定を除く)に戻したあと、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。）
日付と時刻が正しく表示されない	● [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[日付と時刻]を使ってまたは[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]でDATEコマンドとTIMEコマンドを使って訂正してください。 ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合、サーバーの日付/時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降の日付と時間は正しく認識されません。
上記以外の場合	● セットアップユーティリティを起動し、「デフォルト設定する」を選び、いったん標準設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外してみてください。 ● MS-DOSモードで起動し、SCANDISKコマンドを実行してハードディスクをチェックしてください。 ● 起動時に Ctrl を押し、Safeモードで起動してみてください。

●終了時

Windowsが終了できない	● プロバイダーへの通信は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 ● プロバイダーについては、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN（☞ 37ページ）は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 ● LANの設定については、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

●バッテリー状態表示ランプについて

赤色に点灯している 使用中にビープ音が鳴り始めた	バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにデータを保存し、終了してください。ACアダプターを接続するか、満充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	● すぐにデータを保存し終了した後、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。 ● それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電機能の故障が考えられます。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
オレンジ色に点滅している	● バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、充電できません。温度が範囲内になってから、ACアダプターを接続してください。 ● 消費電力が大きすぎると充電できなくなることがあります。消費電力の大きい周辺機器の使用は控えてください。

●画面表示

電源を入れたあと、画面に何も表示されない	● 工場出荷状態では、外部ディスプレイを接続すると、外部ディスプレイに表示される設定になっています。 ● 外部ディスプレイの画面にも表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ● (Fn)+(F3)で表示を切り換えてください。 ● 外部ディスプレイだけに表示してスタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わった場合、操作を再開したときに外部ディスプレイが接続されていないと、LCDには表示されません。この場合は、外部ディスプレイを接続してください。
電源を切っていないのに、しばらくしたら画面に何も表示されなくなった	● 省電力の設定をしていますか？ 何かキーを押すかフラットパッド、タッチパネルまたはマウスを操作して、省電力のため、ディスプレイの電源が切れた状態に入っていないか確認してください。 ● 電力の消費を抑えるため、自動的にスタンバイまたは休止状態に入っている場合があります。（☞ 12ページ）
残像が現れる	イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。
画面に赤・青・緑のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑）するものがあります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
同時表示時に外部ディスプレイの画像が乱れる	(Fn) + (F3) で表示を切り換えてみてください。
マウスカーソルが動かない	マウスを正しく接続し、キーボードで操作してコンピューターを再起動してください。 キーボードを使って再起動するときは、(⊞)（または(Ctrl)+(Esc)）を押し、[Windowsの終了]を選びます。

●タッチパネル

タッチパネルが動作しない	● セットアップユーティリティで、「タッチパネル」を「2E8/IRQ7」に設定していますか？ ● [スタート]-[プログラム]-[Updd]-[調整設定]で[Hardware]のリソースの設定を確認してください。 ● 外部マウスのドライバーがインストールされている場合、タッチパネルが使えないことがあります。タッチパネルのドライバーを再度インストールしてください。 ● 「Calibrate」を実行して、タッチパネルを補正してください。

●サウンド

音が聞こえない	● (Fn) + (F4) を押してミュートを解除してみてください。 ● セットアップユーティリティで[スピーカー]を[有効]に設定してみてください。
音が乱れる	以下のような場合、音が乱れることがあります。この場合、いったん再生を中止した後、再生し直してみてください。 ・スタンバイ・休止状態時 ・(Fn) とのキーの組み合わせによる操作（☞ 2ページ）をしたとき

●操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	Acrobat Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で「c:\util\reader\setup.exe」を起動し、画面に従ってインストールしてください。 その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューからオンラインマニュアルを起動できません。 （Acrobat ReaderはAdobe社のホームページhttp://www.adobe.co.jpからダウンロードすることもできます。）

●ディスクの操作

フロッピーディスクの読み込みも書き込みもできない	● フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ● フロッピーディスクは正しく初期化(フォーマット)されていますか？ ● フロッピーディスクドライブは正しく接続されていますか？
フロッピーディスクへの書き込みができない	フロッピーディスクが書き込み禁止になっていませんか？
フロッピーディスクを初期化する方法がわからない	● [マイコンピュータ]-[3.5インチFD（A:）]-[ファイル]-[フォーマット]を選び、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認してフォーマットを開始してください。 ● 1.2 Mバイトのフロッピーディスクをフォーマットする場合、以下の手順でフォーマットしてください。 1 デスクトップの[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]を順にクリックする。 2 <USB接続のフロッピーディスクドライブを使用している場合> fmtusbfd -F:1.25 a:(Enter) と入力して、画面のメッセージに従って操作する。 ※fmtusbfdコマンドは、Command Prompt OnlyなどWindowsを起動せずに操作している場合や「MS-DOSモードで再起動する」を選んだ場合は使用できません。 <ポートリプリケーター接続のフロッピーディスクドライブを使用している場合> fd3mode (Enter) と入力し、フロッピーディスクドライブをセットして、format3 A:(Enter) と入力し、画面のメッセージに従って操作する。
ハードディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	● ドライブやファイルの指定に誤りがないか確認してください。 ● ハードディスクの空き容量は足りていますか？ ● ハードディスクの内容が壊れている場合があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
上記以外の場合	他のドライブやメディアで試してみてください。

●文字入力

<table>
<tr><td>日本語が入力できない</td><td>タスクバー上にが表示されていますか？表示されていない場合は、日本語入力モードになっていません。(Alt) + (半角/全角) で日本語入力モードにしてください。</td></tr>
<tr><td>数字しか入力できない</td><td>1ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合、テンキーモードになっています。解除するには、(Num Lk) を押します。</td></tr>
<tr><td>アルファベットが小文字で入力したいのに大文字で表示される</td><td>Aランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合、大文字入力モードになっています。
解除するには、(Shift) + (Caps Lock) を押します。</td></tr>
<tr><td>欧文特殊文字（ßàçïなど）や記号が入力できない</td><td>[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[文字コード表]を選んでください。文字コード表が表示されます。フォント名を欧文用フォントなどに指定して、入力したい文字を選んでください。</td></tr>
<tr><td>キーボード上の文字（記号）で入力できないキーがある</td><td>以下のキーはシフトJISコードを使って入力します。
<table>
<tr><td>文字</td><td>"『"</td><td>"¢"</td><td>"ヶ"</td><td>"』"</td><td>"＼"</td><td>"￤"</td><td>"£"</td><td>"々"</td><td>"¬"</td><td>"～"</td></tr>
<tr><td>シフトJISコード</td><td>8177</td><td>8191</td><td>8396</td><td>8178</td><td>815F</td><td>FA55</td><td>8192</td><td>8158</td><td>81CA</td><td>8160</td></tr>
</table>
タスクバー上にが表示されている状態（全角）でシフトJISコードを入力し、(F5) を押してください。
また"＼"は"￥"、"￣"は"～"と表示されます。</td></tr>
</table>

●セットアップユーティリティ

が表示された	ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
[詳細]メニューが表示されない	スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。
[セキュリティ]メニューの項目が表示されない	スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。
[ハードディスク保護]が表示されない	内部のクロックバッテリーを交換する必要があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。

●システムファイルチェッカー

システムファイルチェッカーで「ファイルが壊れている可能性があります」というメッセージが表示される	Internet Explorer 5.01がインストールされているコンピューターで、[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システム情報]の「ツール」メニューから「システムファイルチェッカー」を実行すると、以下の現象が起こることがマイクロソフト社より報告されています。 ・以下の正常なファイルに対しても「ファイルが壊れている可能性があります」というメッセージが表示される。 • ADVAPI32.DLL • CRYPTEXT.DLL • CYPTNET.DLL • CRYPTUI.DLL • MSCAT32.DLL • MSOSS.DLL • MSSIGN32.DLL • MSSIP32.DLL • RNAPH.DLL • SOFTPUB.DLL • WLDAP32.DLL ・その際、メッセージに従ってシステムファイルチェッカーでファイルを修復するとシステムが不安定になる可能性がある。 本機には、工場出荷時にInternet Explorer 5.01がインストールされていますので、上記ファイルに対して「ファイルが壊れている可能性があります」というメッセージが表示されることがあります。この場合、「無視する」を選んで[OK]をクリックしてください。また、今後システムファイルチェッカーはご使用にならないでください。

●アプリケーション

ハングアップした	● Alt + Ctrl + Del を押して再起動してください。 ● リセットスイッチを押してコンピューターを再起動し、アプリケーションソフトを再度起動してください。それでも正常に動作しない場合は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再インストールしてください。

●周辺機器の接続

周辺機器が動作しない（ドライバーのインストール中にエラーが発生する）	PCカードおよび各種周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OSに対応したドライバーを使用してください。未対応のドライバーを使用すると不具合が発生することがあります。ドライバーについては、購入された周辺機器の製造元にお問い合わせください。
印刷できない	● 本機とプリンターは正しく接続されていますか？ ● プリンターの電源は入っていますか？ ● プリンターはオンライン状態になっていますか？ ● 用紙がなかったり、つまったりしていませんか？ ● セットアップユーティリティで「パラレルポート」を「無効」以外に設定していますか？
シリアルコネクターに接続しているシリアル機器が動かない	● ケーブルは正しく接続されていますか？ ● シリアル機器のデバイスドライバーは動いていますか？お使いのシリアル機器のマニュアルを参照してください。 ● セットアップユーティリティで、[フラットパッド]を[無効]に設定して試してください。 ● セットアップユーティリティで、[シリアルポートA]を[有効]に設定していますか？
ポートリプリケーター（別売り）の外部キーボード／マウス端子に接続している外部マウスやトラックボールが動かない	● セットアップユーティリティで、「フラットパッド」を「無効」に設定して試してください。 ● シリアルインターフェースへの変換機能をもつPS/2タイプの外部マウスが外部キーボード／マウス端子に接続されていると、正常に動かないことがあります。シリアルコネクターに接続してください。 ● Panasonic手書きでフラットパッドモードになっている場合、外部キーボード／マウス端子に接続している外部マウスやトラックボールは動作しません。フラットパッドモードを終了した後、再度、接続してください。それでも動作しない場合、コンピューターを再起動してください。
PCカードが使えない	● PCカードの方向を確認して正しくスロットに取り付けてください。 ● PC Card Standard規格に準拠したPCカードを使っていますか？ ● PCカードドライバーまたは他のデバイスドライバーをインストールした後は、必ずコンピューターを再起動してください。 ● PCカードで使われているI/Oポートが正しいか（競合していないか）確認してください。 ● PCカードに付属の取扱説明書をお読みください。または、PCカードの製造元にご相談ください。
使えるRAMモジュールがわからない	☞ 28ページ
RAMモジュールが認識されない	● RAMモジュールの方向を確認して正しくスロットに取り付けてください。 ● RAMモジュールの仕様を確認してください。（☞ 28ページ）
USB接続のCDドライブが起動ドライブとして使用できない	● Panasonic KXL-840AN、KXL-RW20AN以外のCDドライブは使用できません。 ● セットアップユーティリティで、[レガシーUSB]を[有効]に設定していますか？ ● セットアップユーティリティの[起動]メニューで[USB CDドライブ]が1番目になるように設定してください。

●通信時の問題

ネットワークに接続できない	● I/Oアドレス、割り込みレベル、メモリーアドレスは正しく設定されていますか？ 他の周辺機器と競合していないことを確認してください。 ● HUBとの接続に10BASE-T用ケーブルまたは100BASE-TX用ケーブルを使用していますか？また、正しく接続されていますか？ ● HUBのリンクランプが点灯せず、ネットワークが使えない場合、HUBにあわせた速度の設定を行ってください。 ● ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。 ● スタンバイまたは休止状態機能を使って起動したときはコンピューターの再起動が必要です。
電子メール、WWW、イントラネットが見えない（TCP/IPを使用している場合）	● LANケーブルは正しく接続されていますか？ ● IPアドレスの設定、サブネットマスクの設定、デフォルトゲートウェイの設定を確認してください。
外部のWWWが見えない	● プロキシサーバーなどのアドレスを調べてください。 ● ネットワーク担当のシステム管理者に設定を確認してもらってください。